

常総学院同窓会会報

発行／常総学院高等学校同窓会 編集人／同窓会会報編集委員会 委員長／飯田晃久 印刷／(株)塚田印刷



常総学院の今を語る



常総学院中学校・高等学校
副校長

原田 敏和

昭和五八年四月に文武両道の活力ある進学校を志向して高等部を開校。平成八年四月

に本学院教育活動の更なる質的向上を期して中等部を開校。今年度は、中高一貫教育の完成年度にあたります。

生徒指導、学習指導、進学指導、部活指導の徹底で着実に成果を上げ、右肩上がりの成長を遂げてまいりました。

二〇世紀の種々の課題を携えて迎えた二二世紀。不透明な時代だからこそ、人は夢を描き、夢の実現のためにチャレンジする生き方の方が求められるのです。

常総学院生は、中学・高校・大学生活を通して自らのライフワークを見いだしていくでしょう。生涯に渡る仕事を手

にすることによって、生活の糧を得、社会貢献の道歩んでゆくのです。

常総学院は、二二世紀世界創造に貢献する、高い志と深い智慧とをもったリーダーを育てます。リーダーシップとパートナーシップをともに兼ね備えた、グローバルシチズン(地球市民)を育てます。

平成一二年度、四六六名の卒業生は、国公立大学に東京大学四名をはじめとして二二六名が合格。私立大学に、早稲田大学五二名を筆頭に九二六名が合格しています。ちなみに現役合格率七五パーセントという結果を得ました。

地域社会で「学力を伸ばすなら常総」との評価が浸透しつつあります。大変うれし

ことです。そこで、生徒一人一人の可能性をフルに引き出し、向上させようとする、現常総学院の三コースを紹介しましょう。

■中高一貫コース

中高六か年間のコースです。先進的かつゆとりの「中高一貫カリキュラム」によって、基礎力、応用力、実戦力を螺旋階段を上るように、じっくりと養成します。中学校全課程を授業時間増により中学一・二年で履修します。高校課程を中三から高二の三か年で修了し、高三では現役合格のための特別編成授業を実施します。いわゆる「先取り学習」のため高等部特進コースとは別編成です。

実践的でしかも受験対応の英語教育は、英語を意志伝達の道具としてとらえ、ネイティブスピーカーによる英会話授業を実践しています。英検に、中三で準二級、高一で二級合格を達成。中三秋には、ニュージージラントでのファームステイに全員が参加します。

■特進コース

先見的な「特進コースカリキュラム」に基づく教育実践により、

更なる大学現役合格達成をめざしています。平成八年度から「東京大学クラス」を設置しました。

習熟度別クラス編成、七時間授業、分割授業、選択授業等、きめ細かな生徒主体のカリキュラムを編成。基礎から応用、入試実戦まで徹底指導します。こちらにも先取り学習を実施し、三年秋には全カリキュラム修了、一月のセンター試験に備えます。

一年次には基礎・基本を指導、二年次には文系・理系別指導、三年次には受験タイプ別入試実践指導、一月以降は、特編授業を展開しています。これはHRクラスを解体し、入試直前指導、センター試験対策によって現役合格達成を図ります。

さらに課外授業のゼミと補習です。ゼミは、授業の発展学習・入試実戦力養成が目的。補習は、弱点補強がテーマ。七時間授業と車の両輪の関係にあります。全国規模の模擬試験は、生徒学力の客観的把握と入試の実戦対策を目的として休日に実施しています。

■特技コース

部活動の更なる発展と、部活動

の実績をもとにした大学進学を達成しています。

今年度前期の部活動の成果を紹介しますと、硬式野球部の選抜初優勝、吹奏楽部の全日本コンクール通算九回目の金賞受賞、高校総体の飛び込み（水泳）優勝等々。枚挙に暇がありません。

さて常総学院は、生徒・教師・保護者が一体となって、地域社会に支持され、愛される学園の創造をめざします。地域社会に基礎教育の場を提供します。

常総学院の主人公は生徒自身です。生徒が生き生きと学び成長する源は、先ず教師自身が、生き生きと学び教えることから始まります。常総の教育にかける教師集団の夢と情熱と確信に基づく実践が、着実に実を結びつつあります。

今、教育の在り方がその根底から問われています。如何に質の高い教育的サービスを提供できるか、私学としての存在意義が真に試されています。言い換えれば、生徒の成長に如何に貢献できるかが問われているのです。

卒業生が、常総に学んで本当に良かったと喜んでくれる学校でありたい、常総の卒業生であること

を、胸を張って誇れる学校でありたい、そう願いつつ、日々の教育活動に取り組んでおります。卒業生の皆さんのますますのご活躍とご発展をお祈りします。



常総学院と私



常総学院中学校
教頭
谷村 迪子

開校したばかりの常総学院に私
が関わったのは、一期生の一年生
男子二五〇余の小豆軍団が三期期
を迎える前日（一月七日）のこと
だったと思う。植木先生（当時は
丸山先生）が産休に入られるとい
うことで、二期生の入試のお手伝
いから仕事が始まった。入試体制
は現在よりもはるかに物々しく、
受験者の数を超すほどに、一期生
や教職員はもちろん、新採教員、
アルバイトと見渡す限りひとひと
の入試当日であった。

る。

英語を教えるということが私の
使命ではあったが、卒業生にはお
解りのように常総学院にはその上
を行くものがあって、自分の育つ
た世界と対比させて納得すること
に多くの日時を費やすことになつ
た。初期の卒業生たちの多感な時
期を目の前にして私自身非常に得
るものがあり、今でもその頃関わ
った卒業生のアルバムを開くと思
い出が付きにくい。生徒と一緒にな
って物事を解決していくことの難
しさと解決できたときの喜びとが
いつも私の毎日の生活の中に詰め
込まれていたように思う。生徒一
人一人が宝石の原石であった日々
を私は忘れることができない。

その後二ヶ月ほど二階の職員室
の本図先生の副担として一期生と
の目まぐるしい毎日を過ごした後、
三階の非常勤室（初めの頃職員室
は二階に一つ）に夏休みに入るま
でいた。八月からは常勤となり、
四期生から十期生までは担任とし
て可能な限りいろいろなことに挑
戦した。一年生から三年間持ち上
がったのは、五期生と十期生であ
る。

第七十三回選抜高校野球大会、
そして第八十三回全国高等学校野
球選手権大会に出場し、選抜大会
では取手二高での全国優勝以来の
全国制覇を果たすことができました。
これも偏に皆様の日ごろより
のご理解とご声援の賜物と心より
御礼申し上げます。



学校法人常総学院
副理事長
常総学院高等学校
野球部監督
木内 幸男

春、夏の甲子園

祝
第七十三回全国選抜高等学校野球大会
常総学院高等学校野球部
優勝

本校の甲子園大会出場も今夏の
大会で十二回目の出場となりまし
たが、出場するたびにお寄せいた
だきます皆様よりの盛大なるご支
援に心より感謝いたしております。
またさらに、今後も全ての大会に
於いて常に全国を見据えてチーム
作りをしていく所存であります。
皆様の益々のご支援、ご鞭撻の程
改めてお願い申し上げます。

学校創立以来、野球部創部当初
からの学校関係者一同の目標であ
りました全国制覇が達成できまし
たことは、非常に幸運であったと
私自身胸をなでおろしております。
この優勝によって卒業生に皆さ
んから多数の喜びの声、更なる激
励の言葉をいただき、改めて野球
部に対する関心、そして期待の大
きさを肌で感じ取ることが出来ま
した。



祝 常総学院高等学校 野球部

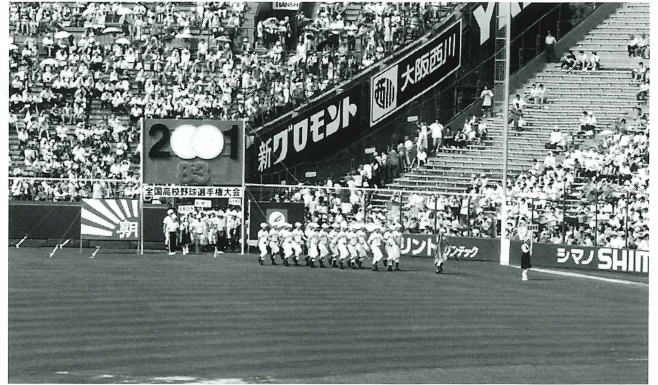
最後になります。皆様のご発展、ご活躍をお祈り申し上げます。お礼とさせていただきます。

マネージャーウコン

三年八組 佐野 恵

二〇〇一年八月十四日。その日、三年生の部員とマネージャーは引退となりました。

三年間を振り返ってみると、一つ一つの出来事が良い思い出です。その中でも一番の思い出は、春夏連続で甲子園に出場できた事です。特に春は「全国制覇」という最高の結果を残すことができました。これは、毎日みんな練習を一生懸命やっていた、努力の賜物だと思います。仕事をする傍ら、グランドの方へ目をやると、いつも目に入ってくるのは真剣な眼差しで練習する部員の姿。私は、みんななら夏もまた、あの広い甲子園球場に行けるだろうと思っていました。そして、夏の県大会、周りから高い評価を受けることになった。プレッシャーは皆あったと思うのですが、それ以上に優勝するぞというチーム全員の気迫が、見



ているだけで感じられました。そして県大会優勝。甲子園の切符を手にし、「春夏連続」に向け部員もマネージャーも頑張りました。しかし、惜しくも2回戦敗退。三年生の夏は終わってしまいました。マネージャーとして私は未熟者でしたが、最後までやってこれたのは監督さんをはじめ先生方、父母の皆さん、部員みんな、そしてマネージャーの仲間のお陰だと思っています。皆さん、どうもありがとうございました。

平成13年度語学研修会

二学年教諭 長瀬明雄

今年度はカナダのバンクーバーにて高校二年生五十七名が参加し語学研修会が行われました。生徒二人が別々のホストファミリー宅に滞在するホームステイの形を中心とし現地の生活を楽しまました。平日は英語でさまざまな授業、週末はホストファミリーが思い思いのライフスタイルを紹介してくれます。

いくつかの学習活動の中で、現地で老人ホームを訪問する機会がありました。生徒は浴衣を着たり、自分の家族や学校の写真を見せたり、折り紙を折ったり、茶道を紹介したりなど、日本の文化を一生懸命伝えました。これがとても評判良く、先日来年もぜひ来てくださいとお礼の手紙をいただいたほどです。他にもこの紙面では書ききれないほど色々な経験を、生徒にとっては貴重な体験の連続だったことでしょう。

それぞれの国民性、文化を理解しつつ、様々なカルチャーショックを経験した今回のホームステイが将来に活かされることは間違いありません。

ホームステイ

二年三組 西 孝王

みんな楽しそうにホストファミリーと話していた。本当に楽しそうに。でも最後には泣いた。それまでせき止められていた何かが、一瞬のうちに溢れ出すかのよう。

事の始まりは七月二十日。僕らは胸を踊らせて異国の地カナダへと旅立った。降り立った瞬間異国の匂いがした。その日すぐにホストファミリーと会い、予想外の歓迎に戸惑いながらも不安感はずぐに消えた。

次の日からは授業と校外学習があった。午前中はネイティブの先生の授業を受け、午後は校外で乗馬、サイクリング、現地見学、ボランティア等を行い、外国を肌で感じる事ができてとてもためになった。

最後に、これらの人生に役立つたくさんの経験と思い出をくれたカナダと、家族と認めてくれ、暖かく見守り続けてくれたホストファミリーのみんな、ありがとう。



部 紹 介

■ 体育部 ■

バドミントン部

三学年教諭 磯部和弘

同窓会会員の皆様、日頃よりご支援、ご援助をいただき誠にありがとうございます。お陰様で我々バドミントン部も今年で一八年目を迎えることができました。

創部以来、各種全国大会で数々の成果をあげてきました。インターハイの男子団体戦は三連覇。この記録は未だに破られていない大記録です。男子のダブルスにおいては、全国選抜大会、インターハイ、全日本ジュニア選手権を合わせて10回の優勝と輝やかしい記録をつくってきました。また女子に關しても全国選抜大会団体戦で二連覇という成果を収めることもできました。一昨年は、本校のOGの米倉選手がシドニーオリンピックに出場するとともにナショナルチームのメンバーに選出されたOB・OGが五名にのびりました。このように諸先輩方が日本のバドミントンのトップで頑張っている

中、ここ数年は、全国大会でベスト8位が定席となってしまうます。

来年は、本校も二〇周年という節目の年を迎え、更には、茨城インターハイというビッグイベントが開催されます。そこで何としても優勝を勝ち取り、諸先輩方に負けない成績をつくりたいと思えます。そのために、何事にも屈しない精神力、地の利・時の利を生かせるような判断力、有利な時に一気呵成に攻められる技術力、そして、これらすべての素となる体力といった全ての面において精進を重ねる所存です。今後とも応援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、今後の同窓会の発展と会員の皆様のご活躍を祈念します。

水 泳 部

三一年一組 中島功泰

本校水泳部は、今年度、部員四名で活動しており、競泳、水泳、飛び込みの三つに別れて、毎日練習しています。水泳部は、毎年インターハイ(全国大会)に出場しており、伝統と実績を残しています。高校一年の時、インターハイに

出場し、一際目についた選手が中国人留学生の楊鵬杰君(福井県)同学年で、その楊君に負け、練習の足りなさに実感し、悔しい思いをした。

それから、楊君に「勝ちたい」それだけを思い、コーチに怒られ、厳しい練習にも耐え、毎日練習を積み重ねました。

二年のインターハイは、世界大会出場のため、楊君とは戦えなかった。

そして今年のインターハイ。

一日目飛板では、予選一位で通過し、決勝では、失敗が重なり、二位。楊君に負け、自分の集中力の足りなさに情けなく思い、二日目の高飛び込みでも負けるかと不安だった。

でも、最後まで集中して飛べることができ、今大会最高得点も出せ、優勝することができました。

飛び込み王国の中国である楊君に勝てたことは、大変嬉しかった。

今まで、辛い練習にも耐え、頑張った成果だと思えました。またコーチやみなさんのおかげで、ここまでこれたと思います。

これからも、もっと上の目標に向かって、頑張っていきます。

文化部

書 道 部

ゆとりを求めて

三学年教諭 樋戸節子

書道部は、高校創立以来十九年間、本校と歩みを共にしてきました。始めは、寂しがりやの集いの場でしたが、少しずつ筆を動かすようになり、展覧会やコンクールなどに出品参加するようになりました。

今では、東雲会書道展を始めとして、全日本学生書道展や各大学主催の作品展に広く出品し、名誉ある賞に輝くまでに成長しました。県の芸術祭にも、毎年一名は入選し、沼尻先生の指導のたまものと感謝感激しています。また、常友祭においても、外部の方たちに期待されるようになりました。少数精鋭の部員一人一人が、力を合わせて作品展の完成にこぎ着けました。部員がゼロで、休部の年もありましたが、焦らず、余裕をもって、楽しく活動していけたらと思えます。

吹奏楽部

二学年教諭 福田和憲

私と吹奏楽部との出会いは、宇都宮で開かれた関東吹奏楽コンクールを聴きに行ったことです。自分が中学・高校・大学と吹奏楽部に籍を置き活動していたので興味関心はありました。ただ私の場合全国を目指すという価値観ではありませんでした。このような私が関東大会での部員達の演奏を聴き、こんなに素晴らしい演奏が出来るのかと感動した訳です。それから機会がある毎にコンクールや演奏会に顔を出し演奏を楽しませてもらいました。

それからしばらくして、本図先生から顧問になってもらえないかということと九期生が三年の時から顧問として卒業生の皆様と接するようになったと思います。ただ私は直接指導する訳ではありませんので、一人一人の卒業生に対して普段の練習や合宿での印象は強くありません。私が印象にあるのは、野球の応援のときの部員の姿であり、コンクール・演奏会へ向けたリハーサルでの緊張感、本番

の表情といったものがあげられます。また、これらの行事のときにはいつもOB・OGが来てくれて、手助けをしてくれていました。甲子園の応援の時も泊まりで助けてくれました。コンクールの時も必ずOB・OGの顔が会場に見えました。定期演奏会の時も陰からいろいろ支えてくれました。顧問としてこのような卒業生からのサポートに対し感謝の気持ちでいっぱいです。

このように何年たっても常総学院吹奏楽部とのつながりを大切にしてくれている卒業生がたくさんいることにこの部の卒業生の素晴らしいさを見ることができました。今、多くの卒業生が多方面に渡ってそれぞれに分野で活躍されていることと思います。現在の部員達も、君達卒業生の伝統を守り、さらに発展させるべく毎日努力しています。これからも卒業生同士縦と横のつながりを築立った常総学院吹奏楽部を中心に広げていってほしいと思います。今年度は全日本吹奏楽コンクール十回出場、九回金賞の偉業を達成しました。卒業生が築いてきた伝統のおかげだと思います。また、来年三月には土浦

市民会館で定期演奏会が開かれます。是非後輩達を励ますとともに同窓会のつもりでみなさん集まっていただけだと思います。自分

平成13年度

大学入試を振り返って

常総学院高等学校 教頭 布施谷 正人

の思い出話が中心になってしまいました。ですが、数多くの思い出をくれた君達に感謝をし、終わります。

〔総括〕

今春の入試において本校では、四年制大学・短期大学・準大学（文部省管轄外大学校）合わせて一〇五六名の合格者を出すことができた。国公立大学では全国的な人気

となろう。更に、今春の卒業者が昨年度の半数以下であることを考えれば、これらの数字は本校が進学校として着実にレベルアップしてきた結果として評価されよう。

〔国公立大学の状況〕

状況を反映して厳しい受験をしいられたが東京大学の四名をはじめ、京都大学・東京工業大学・一橋大学などの超難関大学で合格者を出し、国公立大合格者総数は昨年継続二年連続で一〇〇名を上まわった。私立大学では、早稲田大学の合格者が昨年の三九名から今年度は五二名に急増するなど、超難関・難関大学での伸びが著しい。

全国的な国公立大学人気という受験生にとっては厳しい入試環境であったにもかかわらず、一〇七名の合格者を出すことができた。また東京大学では、最難関といわれる文科I類をはじめとして四名の合格者を出した。二年連続で国公立大百名以上、三年連続で東京大学三名以上の合格者をだしたことは、本校が進学校として確固たる地位を確立したものと見てよいであろう。また、京都大学二名、一橋大学一名をはじめ、北海道大学、東北大学、東京外国語大学、

また、この数年八二%前後で推移してきた国公立大学の合格者に占める現役合格者の比率は、今年度は八六%となり、本校が貫いてきた現役主義が更に一歩進んだ証

大学別合格者数推移(抜粋)

国公立大学

卒業年度		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
大学名	卒業回	10期生	11期生	12期生	13期生	14期生	15期生	16期生
北海道		1		2			7	1
東北		5	1	3	4	4	7	4
茨城		11	22	19	15	15	31	23
筑波		12	16	12	7	8	16	13
埼玉		3	2	5	5	10	7	8
千葉		5	12	8	6	1	8	11
東京			1	2	1	3	3	4
東京工業		1		1		2	2	2
一橋		1		1			1	1
横浜国立		1	5	3	1	4	6	2
京都		1	2	1	1		2	2
茨城県立医療		2	4	3	3	3	7	7
その他国公立大		30	41	55	24	42	36	29

私立大学

卒業年度		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
大学名	卒業回	10期生	11期生	12期生	13期生	14期生	15期生	16期生
青山学院		21	28	18	11	14	23	27
学習院		3	7	11	11	13	18	12
慶応義塾		2	11	10	11	10	16	21
専修		21	36	37	36	27	43	25
中央		17	20	17	14	9	26	10
東京女子		3	7	9	4	7	13	7
東京理科		32	54	41	26	25	57	46
東洋		30	46	47	28	50	55	35
日本		61	77	88	70	93	86	52
日本女子		5	7	15	5	5	12	12
法政		30	35	35	23	17	33	25
明治		48	34	40	22	27	63	37
立教		19	16	13	22	14	33	22
早稲田		19	28	32	35	38	39	52

名古屋大学、大阪大学といった超難関・難関大学での健闘も目立つ。生徒の動向としては、茨城大学二三名、筑波大学十三名、千葉大学十一名、埼玉大学八名、茨城県立医療大学七名など、やはり地元・周辺大学への志向は強い。

また、本校は都内の私立大学への通学も可能な地理的条件にあるため、国公立大学合格の実力を持ちながらも受験校を都内の私立大学だけに絞る生徒も見られる。しかし、引き続き不況のため、全国的にも国公立大学の人気は年々高まっており、本校でも国公立大学の志願者や合格者はさらに増加するものと思われる。

〔私立大学の状況〕

私立大学では、現役・浪人合わせて八九三名の合格者となった。卒業者が昨年の半数以下であった

合格者の多い大学に注目してみると、超難関校および難関校では、早稲田大学の五二名、東京理科大学の四六名、明治大学の三七名、青山学院大学の二七名、法政大学

の二五名、立教大学の二二名、慶応大学の二一名などが挙げられる。一方、中堅校では、日本大学の五二名、東洋大学の三五名、専修大学の二五名などとなっている。十八歳人口の減少のなかにも、超難関大学郡の倍率やレベルにはほとんど変化はないという入試環境のなかでの今春卒業生の健闘は、高く評価してよいであろう。

平成14年度

常総学院中学校 入学試験要項

■推薦・専願入学試験

募集概要	募集人員	男子 女子 合計80名
	受験資格	平成14年3月 小学校卒業見込者 下記の推薦基準を全て満たす者、あるいは専願基準を満たす者 推薦基準 ・小学校校長が推薦する者(各校若干名) ・茨城県内に居住する者 ・本校を専願する者 ・小学校6年次1学期の3段階評定で、国語・算数・理科・社会がそれぞれ3の者 ・小学校5年次から6年次1学期までの欠席日数が10日以内である者 専願基準 ・本校を専願する者(茨城県以外の居住者でも受験可)
出願手続	出願書類	推薦受験者:本校所定の「願書」、「推薦書」、「調査書」 専願受験者:本校所定の「願書」
	出願日	平成13年12月3日(月) 9:00~16:00
	出願場所	常総学院中学校
	受験料	20,000円
入学試験	試験日	平成13年12月9日(日)
	試験場	常総学院中学校
	試験科目	学科試験(国語・算数) 国語100点 算数100点 面接試験(受験生のみ)
	携行品	受験票、筆記用具(HBの鉛筆・消しゴム)、昼食、上履き
	選考方法	学科試験・面接試験・調査書(推薦受験者)の総合評価
	合格発表	平成13年12月13日(木) 自宅へ郵送 ※校内掲示はしません。 ※電話による問い合わせには応じません。
入学手続	手続日	平成13年12月17日(月) 9:00~16:00 ※手続日に入学手続を完了しない場合は、合格を取り消します。
	手続方法	入学時納入時を所定の銀行に振込み、「振込証明書」・「合格通知書」等、所定の書類を用意のうえ、手続きをして下さい。 ※詳細説明書は、合格発表書類に同封します。
	手続場所	常総学院中学校
	学費等 (平成14年度)	(1)入学時納入金 入学金 200,000円 施設費 240,000円 (2)月額納入金 授業料 28,000円 維持費 11,000円

■一般入学試験

募集概要	募集人員	男子 女子 合計80名 ※学業特待制度有
	受験資格	平成14年3月 小学校卒業見込者
出願手続	出願書類	本校所定の「願書」
	出願日	平成13年12月25日(火) 9:00~16:00 平成14年1月8日(火) 9:00~16:00
	出願場所	常総学院中学校 郵送による出願も可(平成13年12月21日から12月25日の消印有効)
	受験料	20,000円
入学試験	試験日	平成14年1月10日(木)
	試験場	常総学院中学校・水戸会場・柏会場
	試験科目	学科試験(国語・算数・理科・社会) 国語100点 算数100点 理科50点 社会50点
	携行品	受験票、筆記用具(HBの鉛筆・消しゴム)、昼食、上履き
	選考方法	学科試験による評価
	合格発表	平成14年1月15日(火) 自宅へ郵送 ※校内掲示はしません。 ※電話による問い合わせには応じません。
入学手続	手続日	平成14年1月17日(木) 9:00~16:00 ※平成14年2月5日(火)まで入学時納入金の延納制度があります。手続日に入学手続または延納の手続を完了しない場合は、合格を取り消します。
	手続方法	①入学時納入金の延納を適用される場合 上記手続日に延納手続金50,000円を納入し、平成14年2月5日(火)16時までに入学納入金の残額を納入する。 ②入学納入金の延納を適用されない場合 入学納入金を所定の銀行に振込み、「振込証明書」・「合格通知書」等、所定の書類を用意のうえ、手続きをして下さい。 ③学業特待生の場合 入学納入金と月々の授業料・維持費の納入が免除されます。(1年更新)。「振込証明書」は必要ありません。「合格通知書」等、所定の書類を用意のうえ手続きをして下さい。 ※詳細説明書は、合格発表書類に同封します。
	手続場所	常総学院中学校
	学費等 (平成14年度)	(1)入学時納入金 入学金 200,000円 施設費 240,000円 (2)月額納入金 授業料 28,000円 維持費 11,000円

平成14年4月 水戸駅よりスクールバス運行開始決定!

平成14年度

常総学院高等学校 入学試験要項

推薦入学試験

一般入学試験

出願手続	全日制 普通科 (男女共学) 250名 ※常総学院中学校からの内部進学者を含む。	募集人員	全日制 普通科 (男女共学) 245名
	特進コース/特技コース	受験コース	特進コース
	・平成13年度中学校卒業見込者で、学業、人物共に優秀な者 ・中学校入学時～3年生1学期の欠席日数、及び、遅刻・早退回数が各々15を超えない者	受験資格	・平成13年度中学校卒業見込者及び中学校卒業生
	単願 (本校が第一志望)	出願区分	併願 (本校と他校を併せて志望)
	本校所定の「願書」、「調査書」、「推薦書」	出願書類	本校所定の「願書」、「調査書」
	平成13年12月13日(木)、14日(金) 9:00～16:00	出願期間	平成14年1月8日(火)、9日(水) 9:00～16:00 ※本校再受験者のみ、1月16日(水)9:00～12:00にも受付。 (この場合、調査書は提出しなくて結構です。)
	20,000円	受験料	20,000円
入学試験	平成14年1月10日(木) ＜試験開始時刻等は受験票に記載＞	試験日	平成14年1月18日(金) ＜試験場、試験開始時刻等は受験票に記載＞
	常総学院高校	試験会場	常総学院、水戸市民会館、石岡市運動公園体育館、牛久運動公園体育館、岩井市立総合体育館、下妻市立体育館、常総運動公園総合体育館、柏市民体育館
	国語、数学、英語(マークシート方式、各100点満点・60分)及び面接	試験科目	国語、数学、英語(マークシート方式、各100点満点・60分)
	受験票、筆記用具(HBの鉛筆・消しゴム)、昼食、上履き	携行品	受験票、筆記用具(HBの鉛筆・消しゴム)、上履き(昼食を摂る時間はもうけておりませんが、持参なさっても結構です。)
	筆記試験、調査書、面接を総合して選考します。	選考方法	筆記試験、調査書を総合して選考します。
	平成14年1月15日(火)各中学校を経由して本人に通知します。 ※電話等による問合せには応じません。	合格発表	平成14年1月25日(金)各中学校を経由して本人に通知します。 ※電話等による問合せには応じません。
	特進コース→特待A1(東大)/特待A2/推薦 特技コース→特待A1/特待A2/推薦	合格区分	特進コース→特待A1(東大)/特待A2/一般S*/一般
入学手続	平成14年1月28日(月) 9:00～16:00 ※この日に入学手続きを完了しない場合は、合格を取り消します。	手続期間	平成14年2月5日(火)～公立高校合格発表日の翌日 9:00～16:00(土曜・日曜・祝日を除く) ※期間内に入学手続きを完了しない場合は、合格を取り消します。
	常総学院高校	受付場所	常総学院高校

合格区分について

■新・合格区分「一般S」

「一般S」とは、一般入学試験において、特待生に限りなく近い成績をおさめた受験生に対して、試験の成績が良好であったという情報を提供するために設定された合格区分です。この区分で合格した受験生が、本校の入学試験の時点で、本校の「東大クラス」と同等グレードのクラスに所属する可能性が高いと判断したことを表しています。

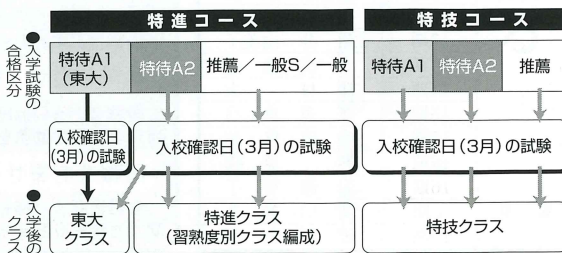
■特待制度の内容

特待生は、入学試験の結果によって決定します。

コース	合格区分	入学時納入金	授業料・維持費
特進	特待A1(東大)	免除	免除(1年ごとに更新)
	特待A2	免除	
特技	特待A1	免除	免除(3年間)
	特待A2	免除	

■合格区分と入学後のクラス編成

クラス編成は、入学試験の結果と入校確認日の試験の結果を総合して行います。平成14年度入試から特進コース特待A1の生徒は原則全員東大クラスに所属することになりました。



■常総学院高等学校同窓会決算書■

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

●収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 1.会費, 2.募金収入, 3.雑収入, 4.前年度繰越金, and 収入の部計.

●支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 1.消耗品, 2.通信運搬費, 3.印刷製本費, 4.会議費, 5.旅費交通費, 6.賃借料, 7.人件費, 8.雑費, 9.選抜出場補助, 10.次年度繰越金, and 支出の部計.

上記の決算書について諸帳簿関係証書を監査した結果、適正かつ正確であることを証明いたします。

平成13年6月27日

会計監査 飯塚康弘 磯部和弘

平成12年度決算について

当初予算においては、単年度収支で57万円支出超過を予定して開始されたが、収入は予算に対して29万の増となり、支出は極力経費の節減に努めたが、予算に対して15万円の増加となった。

この結果、単年度では43万円の支出超過となり、次年度への繰越金は2,700万円となった。

- 1 収入の部 同窓会費、予算どおり収受し、募金収入により予算の増加となった。
2 支出の部 同窓会報発行・郵送、選抜出場補助等により予算の増加となった。

第73回選抜高校野球出場に際し会員の皆様よりの寄付のご協力を賜り有難うございます。

Table titled '常総学院高等学校同窓会役員' with columns for 役職, 卒業期, and 氏名. Lists members from 会長 to 監事 across various graduation years.

皆様方のご芳志に心より感謝いたし後記とさせていただきます。

同窓会会長 飯田晃久
編集委員一同

■常総学院高等学校同窓会予算書■

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで

●収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1.会費, 2.募金収入, 3.雑収入, 4.前年度繰越金, and 収入の部計.

●支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1.消耗品, 2.通信運搬費, 3.印刷製本費, 4.会議費, 5.旅費交通費, 6.賃借料, 7.人件費, 8.甲子園出場経費, 9.雑費, 10.次年度繰越金, and 支出の部計.

平成13年度予算について

平成13年度予算は、平成13年度の事業計画と平成12年度の収支実績とを勘案して編成した。

- 1 収入の部 会費は、470名を収納予定として積算して計上した。
2 支出の部 本年度の事業計画は、①第二回同窓会会報の発行②会員への同窓会会報の郵送が主なものである。これに基づき予算を編成した。

編集後記

立冬も過ぎ冬の足音がすぐ間近に迫ってくる今日この頃です。同窓会の活動も順調に推移し、この度会報第二号を発行する運びとなりました。先月の末には、各学年の代表者である幹事の方々の出席をいただき幹事会を開催し、会則の整備・今後の活動方針などが話し合われました。会員の皆様への母校の情報源として、また母校の教育活動への協力援助等、これからの同窓会活動を益々充実したいと考えております。今後とも会員の皆様方のご指導・ご鞭撻を切にお願いいたします。末尾ですが、春の選抜大会出場に際し、

同窓会事務局より

常総学院高等学校同窓会総会開催のお知らせ

日時 平成14年4月21日(日)
場所 常総学院高等学校 午後2時から
会員皆様の多数の出席をお待ちしております。

悪質な電話(勧誘)にご注意

同窓会あるいは同窓会事務局と名乗って、電話などで強引に勧誘する事件が発生しています。不審な勧誘を受けた場合は、即答せず同窓会事務局までお問い合わせください。

情報をお寄せください。

会員皆様より情報を募集いたします。特に、同期会、クラス会開催等、卒業生の活躍に関する情報をお待ちしています。

☎0298-42-8771